

福井県「園芸 LABO の丘」 再整備基本構想

令和 7 年4月

福井県「園芸LABOの丘」再整備基本構想

目次

1. 目的	2
2. 概況	
(1) 立地	2
(2) 施設の状況	4
(3) 周辺施設	5
4. 基本構想	
(1) 背景	6
(2) 方針	6
(3) 再整備のイメージ	9
(4) スケジュール	11
(5) 事業費	11
(6) 関連計画	11

1. 目的

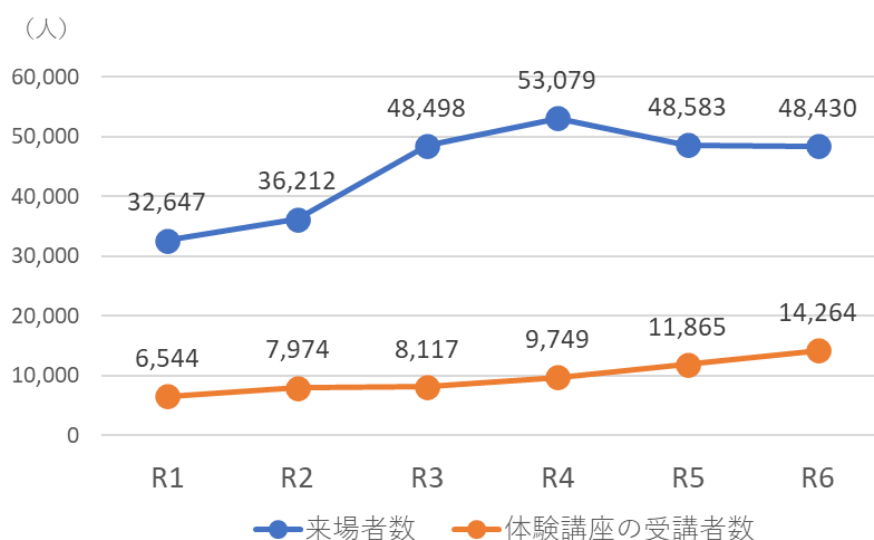
福井県園芸拠点施設（園芸LABOの丘）は、体験や学習を通じて楽しみながら園芸について理解を深めることをコンセプトに令和元年7月に開設した。

開設から約6年が経過し、現在、来場者数は年間約5万人、うち体験講座の受講者数は1万人を超え、「農」や「食」について体感できる施設として定着した。

一方、令和6年3月に北陸新幹線の開業により、福井県への注目は高まっている。

この機を捉え、園芸LABOの丘への年間来場者数10万人を目標に再整備を行う。

園芸LABOの丘への来場者数と体験講座の受講者数



2. 概況

(1) 立地

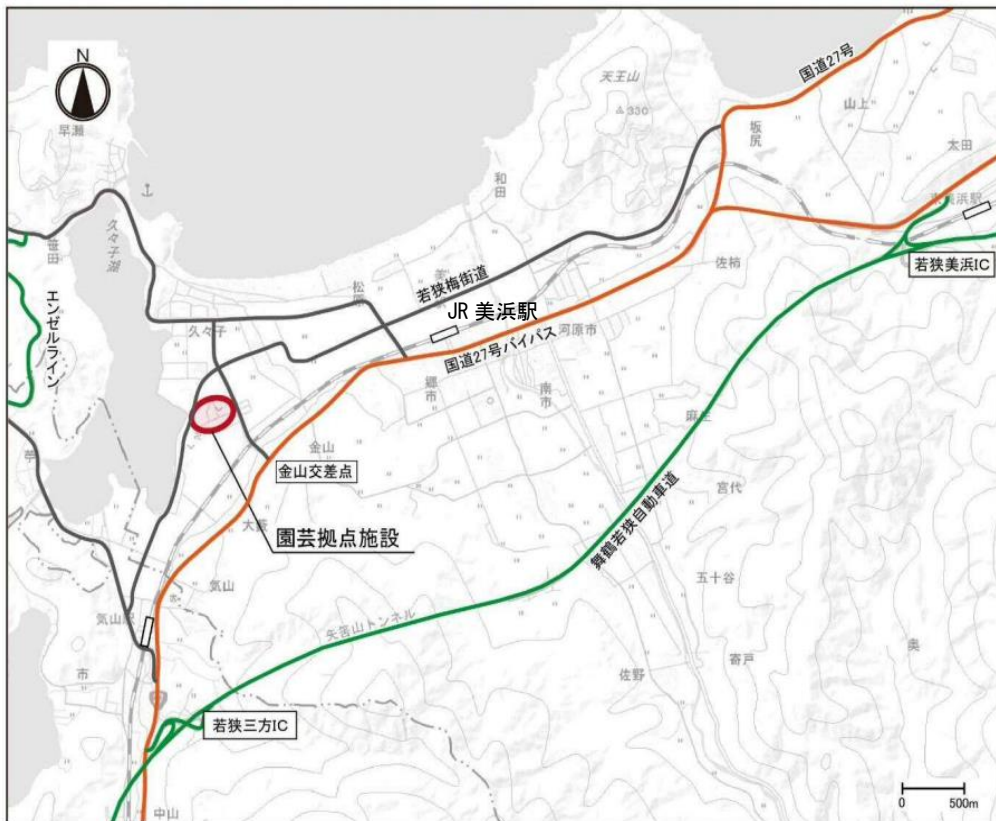
園芸LABOの丘は、福井県三方郡美浜町久々子に位置し、三方五湖の一つである久々子湖を望む丘の上に立地している。

交通アクセスは、若狭梅街道沿いに位置し、若狭舞鶴自動車道を利用する場合、若狭美浜 IC からは約 10 分、若狭三方 IC からは約 15 分で到着する。京阪神、名古屋、金沢といった主要都市圏からも約 2 時間程度でアクセスできるため、広範囲からの来訪が期待できる。

また、JR 小浜線の美浜駅からは、車で約 5 分、徒歩で約 30 分でアクセス可能である。

このように、自然豊かな丘の上に位置し、美しい景観を誇るだけでなく、主要な交通手段からのアクセスも良好である。

【交通アクセス】



【広域図】



所要時間(車、JR)

- 敦賀から 約 25 分(一般道)
- 福井から 約 1 時間(高速)
- 名古屋から 約 1 時間 40 分(高速)
- 京都から 約 2 時間(高速)
- 大阪・兵庫から 約 2 時間 30 分(高速)
- 東京から 約 4 時間(北陸新幹線・敦賀駅→車・一般道)

(2) 施設の状況

園芸 LABO の丘は、福井県の試験研究施設である福井県農業試験場 園芸研究センターの附属機関として、同センターの敷地内に開設している。

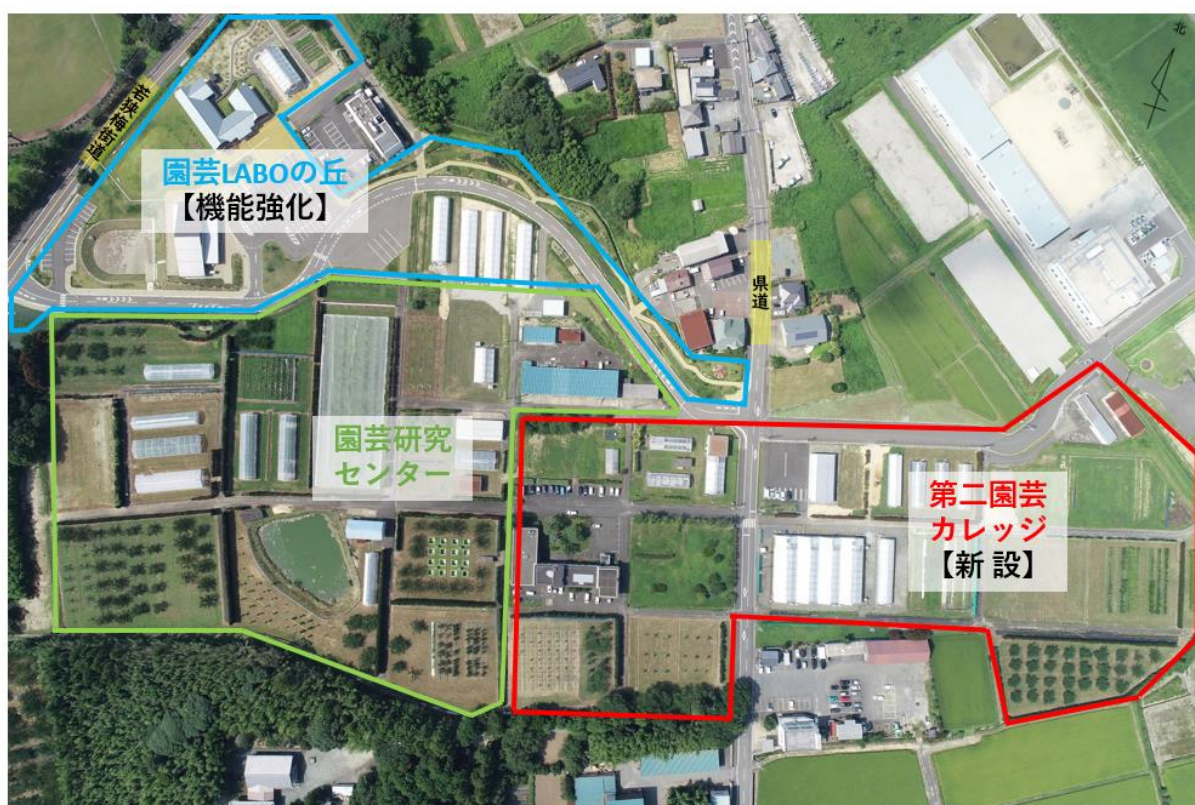
センターでは、スマート農業技術や近年の環境条件に適応した技術の確立など、時代の要請に応えた研究に取り組み、嶺南の農業振興をけん引している。

また、令和10年には、敷地内に新規就農者の育成のため、就農希望者が栽培を実践し技術を習得できる研修施設「第二園芸カレッジ(仮称)」を設置する予定である。

そのため、将来は、観光や体験ができる「園芸 LABO の丘」、新規就農者の研修施設である「第二園芸カレッジ(仮称)」、研究機関である「園芸研究センター」が連携することにより、嶺南の園芸振興・人材育成の拠点として期待できる。

※現在、嶺北（あわら市）に「園芸カレッジ」設置

【3施設の配置イメージ(園芸研究センター敷地内)】



□リンク [園芸研究センター | 福井県ホームページ](#)

[「ふくい園芸カレッジ」公式サイト | 福井県ホームページ](#)

(3) 周辺施設

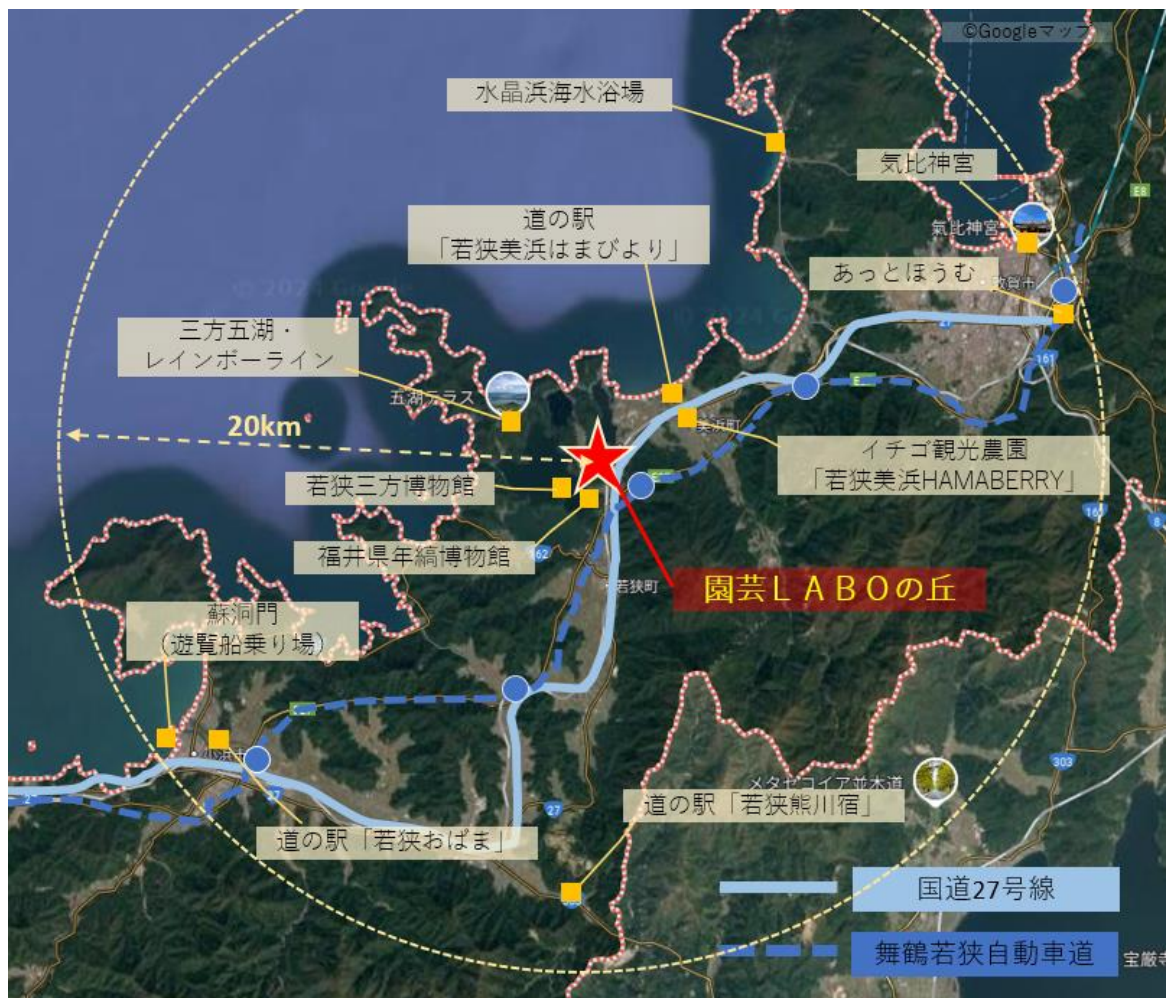
観光地としては、三方五湖の周遊ルートであるレインボーライン、海岸の断崖を遊覧する蘇洞門めぐりの遊覧船乗り場、鳥居が「日本三大木造大鳥居」の一つになっている気比神宮などがある。

また、道の駅「若狭美浜はまびより」や「若狭おばま」など、特産物の購入や飲食ができる施設を備えた道の駅が多数整備されている。

さらに、世界的にも貴重な地層について学べる年縞博物館、縄文文化を学べる縄文博物館、子供が電力などについて楽しみながら学べる施設などがある。

このように、園芸 LABO の丘を中心とした半径約 20km 範囲には、地域活性化の拠点となる施設が多く立地しており、観光客や体験学習を目的とする団体にとって魅力的な要素となり得る。

【周辺施設の位置】



□その他の施設 リンク [FUKUI 若狭 ONEweb 福井「若狭路」の観光サイト](#)

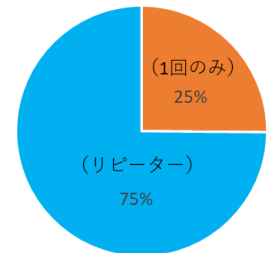
4 基本構想

(1) 背景

これまで「楽膳の里」をテーマに、食を通じた体験・学習する施設として、植栽・農業技術の展示や体験講座を行ってきたが、現状では以下のような課題がある。

- 施設の利用者が固定化され、一般県民や観光客への広がりが少ない
- 技術の発展に伴い、スマート農業など新たな技術を取り入れた農業体験・交流の場としての機能強化が求められている
- 県や立地地域の新たな観光振興施策をふまえた、地域資源を活かした新たな魅力創出が必要

体験講座受講者の状況（R5）
（体験者延べ1,285人の内訳）



このような背景から、園芸 LABO の丘を単なる展示・体験の場にとどめず、県内外の人々が訪れ、地域とつながる新たな地域活性化の拠点として再整備する。

(2) 方針

① 周辺施設からの誘客

現状では、周辺の観光施設から周遊して集客する導線が確立されておらず、誘客機会を逃している。特に子育て世代の家族層やアクティブシニア層をターゲットに、周辺施設では提供できない差別化をはかったコンテンツを提供し、周辺施設からの誘客を行う。

【周辺施設の状況・入込客数（R5）】



【周辺施設の概要】

①あっとほうむ (敦賀市) エネルギーの理解を深める科学館。体を動かして遊びながら学ぶ。 	②キッズパークつるが (敦賀市) ネット遊具やボールプール等屋内アスレチック施設 	③日本海さかな街 (敦賀市) 日本海側最大級の海鮮市場。60店舗が集結 	④敦賀東浦みかん狩り園 (敦賀市) 10月中旬～11月下旬が旬 
⑤レインボーライン (美浜町・若狭町) 三方五湖を眺めるドライブコースで、山頂はリフト、ケーブルで上られる。 	⑥道の駅 若狭美浜はまびより (美浜町) 直売所、レストラン、キッズスペース、イベントスタジオあり。 	⑦若狭美浜HAMABERRY (美浜町) いちごの摘取園。12月～翌年8月。道の駅 若狭美浜はまびよりに隣接 	⑧海遊バザール千鳥苑 (美浜町) 若狭美浜海の駅 (美浜町) 団体客 (700名) を収容できるドライブイン。クラフトビールを製造。 
⑨福井県海浜自然センター (若狭町) 海や三方五湖の自然を学ぶ。ミニ水族館 	⑩梅の里会館 (若狭町) JAの直売所。梅干を始め、梅ワイン等の加工品を製造直売 	⑪福井県年輪博物館 (若狭町) 三方五湖の一つ水月湖で作られた世界的にも貴重な地層について学べる。 	⑫若狭三方縄文博物館 (若狭町) 鳥浜貝塚の集落遺跡からの木製遺物が展示されている。 
⑬福井県里山里海研究所 (若狭町) 野鳥観察や松ぼっくりを使った工作体験ができ、里山里海の自然を学ぶ。 	⑭岩屋観光梨狩り園 (若狭町) 8月～9月が旬。岩屋地区は50年以上の歴史がある嶺南唯一のナシ産地 	⑮蘇門門・若狭イッシャマツワ (小浜市) 遊覧船、ショッピング、食事が楽しめる。 	⑯御食国若狭おばま食文化館 (小浜市) 小浜の食のPR施設。レストラン、銭湯、キッチンスタジオあり。 
⑰福井県こども家族館 (おおい町) 大きな室内遊戯施設。料理や物作りの工房もある。 	⑱きのこの森 (おおい町) 全長460mの巨大滑り台、芝生敷の広場、展望台、BBQ施設あり。 	⑲くだものがかり (おおい町) いちご (10月～翌年5月)、アール・ハヴリ (6月～8月) の摘取園。桃の直売等 	⑳青戸ペイサイドヒルズ (おおい町) BBQ場、キャンプ場、レストラン、動物ふれあい、ぶどうの摘取園等あり。 
㉑UMIKARA (高浜町) 漁港と併設。海産物の直売所、レストラン、海釣り公園あり。 	㉒若狭高浜エルどらんど (高浜町) 電気事業の理解を深める施設。温室内に熱帯雨林、ジャングルジムあり。 	㉓海辺のいちご畑 ジョリーファーム (高浜町) いちご (1月～8月) の摘取園。いちご大福、どら焼きあり。 	㉔バピーフルーツパーク (高浜町) いちご (3月～8月) の摘取園。寒暖の差が大きい山麓で栽培し甘い。 

(イメージ)

- ◆ シンボリックなランドマークの設置
- ◆ 地元特産品を活用した食育・調理体験
- ◆ 周辺施設と差別化をはかった魅力のあるフォトスポットの設置

②教育旅行の受入

教育機関向けの学習コンテンツを提供し、県内外の修学旅行や課外活動の受入強化を行い、平日の利用者数を確保する。

また、未来を担う子どもたちに福井県の農業の魅力や楽しさを伝えることで、将来の地域農業を支える就農人材の確保に資する。

(イメージ)

- ◆ 県内外の子どもや学生に対する農業をテーマとした探求学習の提供
- ◆ 子ども向けのスマート農業体験講座の実施
- ◆ 一次産業を通じて環境や循環について学ぶオンラインプログラム

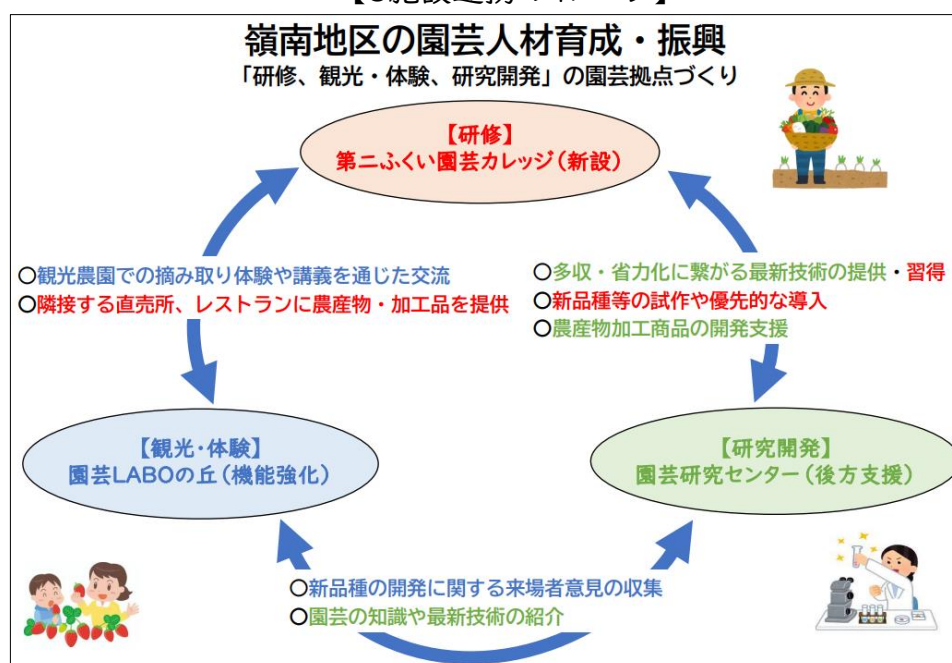
③3施設連携による農業の魅力発信

園芸研究センターや第二園芸カレッジ（仮称）との連携により、新技術の情報や今後、新規就農者として活躍する人材との交流が期待される。

また、近年、五感を通じた直接的な体験の価値が認識され、「ここでしか経験できない体験」が求められている中、豊かな自然と農漁村を抱える嶺南は、地域資源となり得る場所が数多く存在する。

こうした地域のポテンシャルを活かし、園芸 LABO の丘が人・モノ・情報を繋ぐハブとしての役割を果たすことで、県内外より訪れる観光客に実際の生産現場での農作業や地域とのふれあいを体験できるプログラムを提供していく。

【3施設連携のイメージ】



(イメージ)

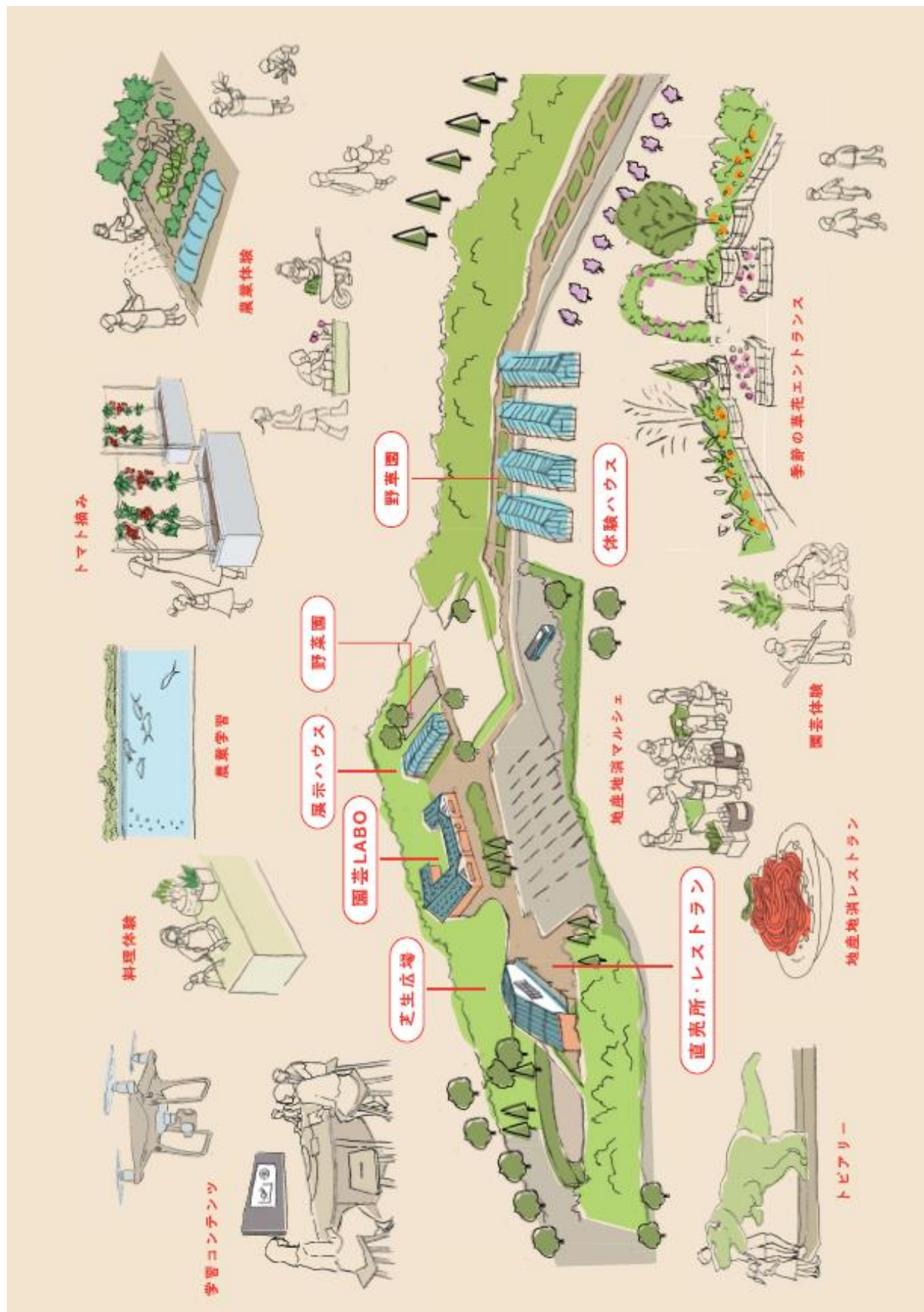
- ◆ 地元農家・漁師と子どもたちが直接交流できる農漁村体験の実施
- ◆ 園芸研究センターや大学、地域企業との連携によるワークショップや研究発表
- ◆ 都市部からの農業ボランティアとの交流イベントの開催

(3) 再整備のイメージ

① 内容

テーマ		現状	再整備後のイメージ
展示	薬草園	薬効のある植物展示（非医薬品薬草） ・身近な薬効のある野菜、草花、樹木	季節ごとにテーマを設定し、集客に寄与する植栽（アーチ棚等、立体感のある設計等）
	ハウス	注目の野菜などの展示 ・巨木トマトの栽培展示、収穫体験	体験が可能な品目を増やし、通年で集客する。（ハウスの増設等）
	果樹園	福井で栽培されている果樹を展示 ・モモ、ブドウなど	果樹にこだわらない植栽の見直し、憩いのスペースの創出 （野菜栽培スペースの増設、ベンチ、遊具等の設置等）
学習	園芸 LABO	展示園やハウスで採集できる作物や野菜などを材料に食や園芸に関する体験活動 ・加工体験（トマトピザ、梅シロップ作り等）	探求学習をメインとしたコンテンツ等の開発（修学旅行や課外活動に対応したスペースの確保、資機材の拡充等）
交流	交流広場	来訪者の憩いの場としての整備 ・小高い円形の丘を整備	修学旅行や課外授業で、学びの場としての活用（ドローン実習等） 家族連れやアクティブシニアをターゲットとした活用 （遊具、ビアガーデン等の設置） シンボリックなランドマークの設置 （展望台、フォトスポット等の設置）
	直売所	地域の農林水産物、農産加工品等の販売 ・地元農産物等の販売 ・園芸研究センターで栽培した作物の販売	園芸研究センターに併設される第二園芸カレッジ（仮称）の受講生の生産した農産物の販売 園芸研究センターで開発した新品種のテストマーケティング
	レストラン	薬膳料理や県産食材を用いた料理の提供 ・若狹牛、しじみ、ケール等を用いたメニューの提供	園芸研究センターや園芸 LABO の丘の収穫物を使った新メニューの開発 （オリジナルスイーツやサラダバー等）

②イメージ図



(4) スケジュール

令和 10 年 4 月リニューアルオープン

(5) 事業費

1.9 億円以内

(6) 関連計画

①ネクストふくい観光ビジョン

県の観光戦略、期間：令和 7 年度～令和 11 年

<基本理念>

しあわせ発掘ふくい ～知るたび、幸せになる旅～

ふくいを訪れるたび、知られざるふくいの魅力を発掘し、知るたび（度・旅）、幸せになる旅を旅行者に届ける。旅行者に選ばれることで県民の地域への愛着や誇り、豊かさを高め、観光を通じてふくいの生活文化と地域経済の活力を次世代につなげる。

<戦略体系>

●目指す姿 1. 価値を高める

主要観光地を含むエリア間を「面」で捉え、地域のブランド力を高める。また、宿泊施設の充実等により滞在型観光を定着させ、旅行者の観光消費を促し、ふくいでの旅の価値を高める。

●目指す姿 2. 未来につなげる

観光投資で稼ぐことができる好循環を生み出すとともに、観光 DX の活用により、労働環境の改善や業務の効率化など持続可能な観光地づくりを目指す。また、DMO の体制強化や観光人材の育成などに取り組むことで、ふくいの生活文化と地域経済の活力を未来につなげる。

●目指す姿 3. 世界に選ばれる

訪日外国人旅行者の誘客と交流人口の拡大のため、国別等のターゲットに応じたプロモーションや体験型観光の造成、広域による周遊観光を進めるほか、富裕層の誘客により世界に選ばれるふくいを目指す。

●目指す姿 4. みんなが幸せになる

県民、事業者、旅行者、それぞれが観光の当事者として関わることにより、みんなが幸せになることを目指す。地域への県民の愛着と誇りの醸成、経済効果の周知、事業者の生産性向上、質の高い体験による旅行者の再来訪促進などにより、みんなが幸せになることを目指す。

□リンク：[ネクストふくい観光ビジョンの策定 | 福井県ホームページ](#)

②若狭湾プレミアムリゾートエリアプロジェクト

県および嶺南地域の6市町（敦賀市、小浜市、美浜町、高浜町、おおい町、若狭町）が連携し、国内外からの観光客誘致を目的としたリゾートエリア形成プロジェクト。

県や市町が保有・管理する土地を対象に、民間事業者から、富裕層を含む外国人観光客の誘致、若者にとって魅力的な新たな雇用機会の創出、地産地消による農林水産業の活性化などの提案を募集する。

<公募対象事業の内容>

- 客単価の高い宿泊施設の整備（リゾートホテル、会員制ホテル、オーベルジュ等）
- 客単価の高い単価の飲食施設（レストラン、カフェ等）
- その他、集客力の高い観光誘客施設

<美浜町の公募対象地>

- 水晶浜の見える丘（美浜町竹波）
- 久々子湖の見える丘（美浜町金山）

■リンク：[若狭湾プレミアムリゾートエリアプロジェクト | 福井県ホームページ](#)

[若狭湾プレミアムリゾートエリアプロジェクトに関する民間提案事業の募集 - 福井県美浜町](#)

③美浜町観光振興計画

期間：平成26年度～令和8年度 ※令和2年度に計画を見直し

<基本理念>

可能性を秘めた地域の「人、モノ、コト」で「魅力あるまちづくり」

<将来像>

自然と食でおもてなし 人と人^{つな}とが絆がる 活気とにぎわいのまち

<定性的な目標>

- ①町内の各ゾーンの特性を最大限に活かすまちづくり
- ②仕事環境のニーズ、交通環境の変化など、社会の変化に対応するまちづくり
- ③感動にあふれる体験、くつろぎの時間、癒しとりフレッシュ、様々な時間を提供するまちづくり
- ④地域の環境や自然、安心・安全な生活など持続可能なまちづくり
- ⑤地域内の特産品を観光に活かすまちづくり
- ⑥宿泊施設ごとの魅力を向上し、付加価値を生み出すまちづくり

【回遊の促進】

それぞれの特性を踏まえたゾーンごとの方向性を定め、特徴づくりを行っていく。

園芸 LABO の丘は、「三方五湖ゾーン」にあり、三方五湖、レインボーラインなど強力な観光資源がある。

取り組み内容としては、三方五湖及び周辺の観光資源の磨き上げ、展望スポットや休憩スポットの整備等の環境整備と活用を行う。



□リンク：[美浜町観光振興計画の改定 - 福井県美浜町](#)

計画平面図



(A1) 5-1:500
(A2) 5-1:1000

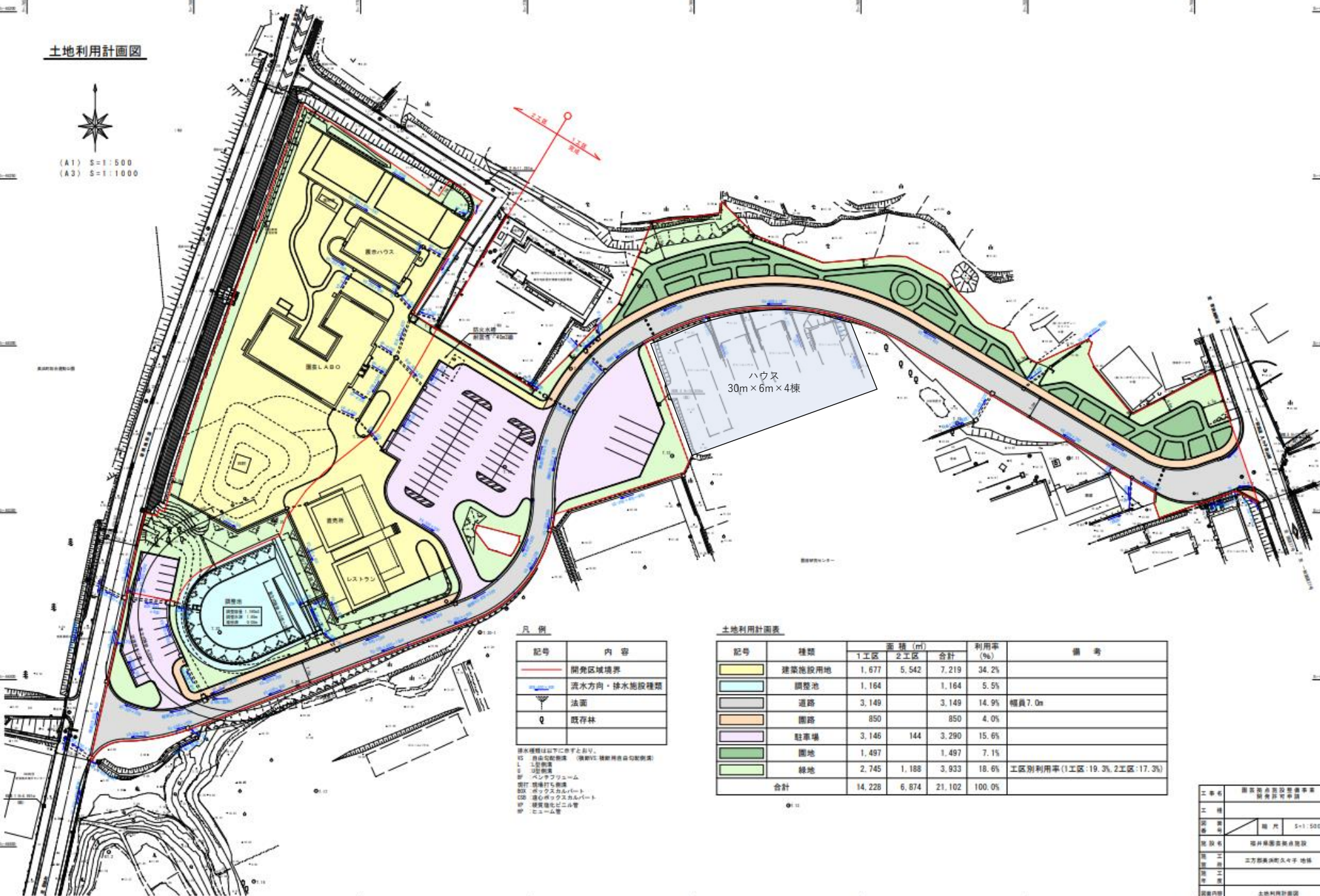


工事名	
工種	
図面番号	1
縮尺	5-1:500
設計者	坂井泰隆建築設計
施工者	三井物産株式会社 建築
監工者	
図面内容	計画平面図 (案)
植井 泉	

土地利用計画図



(A1) S=1:500
(A2) S=1:1000



凡例

記号	内容
—	開発区域境界
—	流水方向・排水施設種類
Q	法面
Q	既存林

排水種類は以下に示すとおり。
 RS 自由勾配排水 (傾斜RS、傾斜VC、傾斜自由勾配排水)
 L 上向き排水
 S 下向き排水
 BF ベンチフリューム
 BS 排水口も排水
 BS2 ボックスカナル排水
 CS 通心ボックスカナル排水
 SP 縦断排水カナル管
 SP2 ニュース管

土地利用計画表

記号	種類	面積 (㎡)			利用率 (%)	備 考
		1工区	2工区	合計		
■	建築施設用地	1,677	5,542	7,219	34.2%	
■	調整池	1,164		1,164	5.5%	
■	道路	3,149		3,149	14.9%	幅員7.0m
■	園路	850		850	4.0%	
■	駐車場	3,146	144	3,290	15.6%	
■	園地	1,497		1,497	7.1%	
■	緑地	2,745	1,188	3,933	18.6%	工区別利用率(1工区:19.3%, 2工区:17.3%)
合計		14,228	6,874	21,102	100.0%	

工事名	国営東北総合開発事業 国営東北総合開発事業			
工 種				
図面番号	縮 尺	S=1:500		
建設名				福島県農業振興建設
施 工 種	二方部排水計画図 地保			
施 工 種				
図面内容	土地利用計画図			
	福 井 誠			